

バスケットボール競技(知的障害部門)申し合わせ事項

5月26日(土)・5月27日(日)

北区桐ヶ丘体育館 アリーナ

6月2日(土)・6月3日(日)

板橋区立小豆沢体育館 室内競技場

競技規則

本項に定める以外は、平成30年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

試合方法及び競技上の規定

現行の(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。(但し、試合方法については下記のとおり定める)

(1) 使用球は男子・検定皮製7号球(モルテンBGL7)、女子・検定皮製6号球(モルテンBGL6)とする。

(2) ゴールはリングまでの高さ3.05mとする。

(3) 各チームは、キャプテンを含む5名のプレイヤーと交代要員10名から構成すること。
但し、男女混合チームの場合は、男子チームへの出場とする。

(4) 試合時間・規則について

申込状況により、下記の①・②・③のいずれかで実施する。

① 試合時間は、8分×4クォーターで(公財)日本バスケットボール協会競技規則。

第1クォーターと第2クォーターの間、第3クォーターと第4クォーターの間にそれぞれ1分のインターヴァルをおく。第2クォーターと第3クォーターの間に8分のハーフタイムをおく。

※笛が鳴った時は、すべて時間を止める。

② 試合時間は8分の流し1クォーターのみ。第4クォーター扱いとする。

・残り1分で時間は止める。それまでは時間を止めない。

・フリースローはなしとする。

但し、シュート体制のファールについては1点を与え、攻撃側からのスローインとする。

カウントの場合は2点+1点(3ポイントの場合は3点+1点)を与え、エンドラインから防御側のスローインとする。チームファール5つ目からは1点を与え、攻撃側のスローインで行う。

・タイムアウトは1回30秒とする。

・3ファールで退場とする。

③ 試合時間は8分—1分—8分の2クォーターで行い、時間は流す。

・2クォーター目は、4クォーター扱いとし、残り1分で時間を止める。

・フリースローはなしとする。

但し、シュート体制のファールについては1点を与え、攻撃側からのスローインとする。

カウントの場合は2点+1点(3ポイントの場合は3点+1点)を与え、エンドラインから防御側のスローインとする。チームファール5つ目からは1点を与え、攻撃側のスローインで行う。

・タイムアウトは前後半で1回ずつ30秒とする。

・5ファールで退場とする。

(5) トーナメント戦について

第4クォーターを終わって同点の場合は、2分の休憩後5分の延長戦を行う。

(6) リーグ戦について

- ・同点の場合は、延長戦を行わない。
- ・リーグ戦は、勝ち点2、引き分け1、負け0とする。
- ・2チームが同点の場合は、2チームの対戦結果の勝ちを上位とする。
- ・3チームが同じ勝ち点の場合は、全試合の得失点差によって決める。)

(7) TO (テーブルオフィシャル) について

- ・勝ちチームがTO、負けチームがモップをおこなう。

(8) 日程及び組み合わせについて

- ・高校生の部は特別支援学校と就業技術科と分けて行う。

【高校生の部予定日】

5月26日(土)、5月27日(日)、6月2日(土)、6月3日(日)

【社会人の部予定日】

5月26日(土)、5月27日(日)、6月3日(日)

※申込状況により、変更となる場合がある。

- ・組み合わせは、4月29日(日)に主催者が関係者立会いのもと代理抽選で決定する。

(9) 個人種目は、団体戦に出場しない選手が参加し、次の試技を行う。

- ・高校生の部 5月26日(土) 社会人の部 5月27日(日)
- ① フィールドゴール・・・30秒間に入るシュート数を競う。2回行い、多い方の得点をとる。
- ② リバウンド・・・・・・・・30秒間ボードにパスし、ジャンプ捕球して着地に成功した回数を競う。
- ③ ドリブル・・・・・・・・3mごとに1列に置かれた障害物をジグザグにドリブルで通り抜ける。
2個の障害物を通り抜けて1点とする。30秒ずつ2回行い、多い方の得点をとる。

※大会プログラムは、事前に発送する。